

アライアンスプロモーションと首都圏バイオブース

関東経済産業局補助事業「平成 23 年度地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域新成長産業群創出事業）（首都圏を中心としたバイオ産業振興のためのネットワーク形成事業）事業」の一環として、10月5日(水)～月7日(金)の3日間、アライアンスプロモーション in BioJapan 2011ービジネスパートナーリングプレゼンテーションー 及び首都圏バイオネットワークブース展示を行った。

・アライアンスプロモーション in BioJapan 2011

アライアンスプロモーションは、全国のバイオクラスターとの連携により、全国のバイオベンチャーが自社のコアコンピタンスやビジネスプラン等を国内外の製薬企業に対して紹介する場を設け、製薬企業等とのアライアンス締結やM&A、共同研究等の実施、資金獲得に繋げ、事業化を加速化することを目的として実施してきた。

BioJapan 展示会場内で創薬、創薬支援、医療を事業領域とした全国のバイオベンチャーが発表する形式となって本年度で4回目となり、創薬系 7社、創薬支援系 23社、医療系 3社、計33社が発表した。

ニーズに適合するアライアンス先は求めるためには国内に留まらず、ますます海外への情報発信が重要となってきたため、初の試みとして、本年は英語口頭発表のプログラムを企画し、33社中15社が日本語発表とともに英語口頭発表も実施した。

3日間で全50セッションを実施し、のべ1,171人の来場者があった。英語口頭発表を実施したため、海外来場者も含め多くの来場者が集まり、発表終了後も活発な名刺交換・質疑応答が行われていた。



アライアンスプロモーション発表企業

(株)アーティセル・システムズ、アキュメンバイオフィーマ (株)、(株)アドバンテージ・サイエンス、AntiCancer Japan (株)、イムナス・ファーマ (株)、(株)応用医学研究所、オンコセラピー・サイエンス (株)、(株)オンチップ・バイオテクノロジーズ、片山化学工業 (株)、(株)CANGO、(株)グリーンペプタイド、(株)chromocenter、(株)ジーンケア研究所、(株)ジーンデザイン、(株)ジェイテック、JITSUBO (株)、ジャパンバイオインフォマテックス (株)、(株)白石バイオマス、(株)生体分子計測研究所、多摩川精機 (株)、(株)ツーセル、東洋理機工業 (株)、(株)トランスパレント、ナノキャリア (株)、バイオマトリックス研究所、(株)ハイファジェネシス、(株)ハイペップ研究所、広島バイオメディカル、(株)プリベンテック、(株)プロップジーン、(株)メイズ、(株)免疫生物研究所、(株)ユーグレナ (五十音順)

・首都圏バイオネットワーク ブース出展

首都圏バイオネットワークは産業クラスター計画の一環として結成され、広域関東圏のバイオベンチャーの創業や発展のための様々な事業を展開しており、この一環としてベンチャ

一企業の負担の大きい販路拡大に寄与するためベンチャー企業と共に展示会へ共同出展してきた。BioJapan への出展は本年で 6 回目となり、創薬領域 6 社、R&D 機器・試薬・サービス 9 社、IT/バイオインフォマティクス 4 社、環境・エネルギー領域 1 社、受託試験業務 1 社、合計 21 社が出展した。

展示会場入口にも近く、アライアンスプロモーション セミナー会場と隣接していることでセミナーとも連携しやすく、また会期中会員企業に NHK・産経新聞から取材も入り、多くの来場者でブースは非常に活況であった。

出展企業

イムナス・ファーマ(株)、インシリコバイオロジー(株)、オンコセラピー・サイエンス(株)、(株)オンチップ・バイオテクノロジーズ、(株)CANGO、(株)ケーナインラボ、(株)国際バイオインフォマティクス研究所、ジャパンバイオインフォマテックス(株)、(株)生体分子計測研究所、泰榮電器(株)、(株)天然素材探索研究所、(株)東京未来スタイル、(株)トランスパレント、ナノキャリア(株)、(株)ブラスト、(株)プリベンテック、(株)プロップジーン、メイズ(株)、メッセンジャー・スケープ(株)、(株)ユーグレナ、(株)レクメド

五十音順



(写真：展示ブースの様子)

以上